

# AE 減水剤 高機能タイプ ダラセム M シリーズ

## JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) 適合品

### はじめに

近年のコンクリートの技術革新には目覚ましいものがあり、それに伴ってコンクリートに要求される性能や品質はますます多様化・高度化しています。

ダラセム M シリーズは、これからの時代を担う機能性に富む AE 減水剤です。

ダラセム M シリーズは、ポリカルボン酸化合物と特殊界面活性剤の複合作用により、従来の AE 減水剤より減水性能が高く、また流動性保持に優れた機能を有するために、一般から高強度コンクリートまで良好な作業性を有するコンクリートを作ることができます。

### ダラセム M シリーズの特長

- 優れたセメント分散性により、単位水量を大幅に減らすことができます。
- 流動保持性に優れた機能を有し、安定した施工性が得られます。
- 材料分離を抑制し、ブリーディングおよびコンクリートの沈下が減少します。
- 材料や温度による品質変動が小さく、取り扱いが容易です。
- 耐久性に優れたコンクリートの製造が可能です。

主成分・物性			
	ダラセム M 標準タイプ	ダラセム M-E スランプロス低減タイプ	ダラセム MR 遅延タイプ
区分	AE 減水剤 標準形 I 種	AE 減水剤 標準形 I 種	AE 減水剤 遅延形 I 種
主成分	ポリカルボン酸化合物 と特殊界面活性剤	ポリカルボン酸化合物 と特殊界面活性剤	ポリカルボン酸化合物 と特殊界面活性剤
外観	褐色液状	褐色液状	褐色液状
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.060 – 1.090	1.050 – 1.080	1.050 – 1.080
全アルカリ量 (%)	1.0	1.1	1.7
塩化物イオン量 (%)	0.01	0.01	0.01

塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値例です。

### 使用方法

- ダラセム M シリーズの標準使用量は、結合材に対して 1.0% ですが、目標の性能が得られるように 0.5~1.5% (質量) の範囲でご使用ください。本製品の性能は、使用材料や使用条件などにより異なる場合がありますので、目標とするコンクリートが得られる使用量を試し練りによって決定してください。また、所定の空気量が得られない場合は、弊社の空気量調整剤を用いて調整してください。
- ダラセム M シリーズは、単位水量の一部として練混ぜ水に混合してご使用ください。
- ダラセム M シリーズには、ダラセム M、M-E 及び M-R のほかに、これらの姉妹品としてダラセム M-7、M-E7 及び MR-7 があります。ダラセム M-E 及び M-E7 は、より高いスランプ保持性能が必要な場合に適しています。

### 荷姿

18 kg 内面塗装缶 / 210 kg ドラム缶 / 1050 kg タンク / バル。

## JIS A 6204 による試験結果例

ダラセム M, M-E 及びダラセム MR は, JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) に適合します。

使用材料

- ・セメント : 普通ポルトランドセメント 3 種等量混合
- ・細骨材 : 陸砂
- ・粗骨材 : 碎石 2005
- ・混和剤使用量 : C×0.85%

### 試験結果

項目	AE 減水剤 標準形 規定値	ダラセム M	ダラセム M-E
減水率 (%)	10 以上	16	16
ブリーディング量の比 (%)	70 以下	40	40
凝結時間の差 (分)	始発	- 60 ~ + 90	+ 35
	終結	- 60 ~ + 90	+ 40
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	110 以上	137
	材齢 28 日	110 以上	129
長さ変化比 (%)	120 以下	100	100
凍結融解に対する抵抗性 相対動弾性係数 (%)	60 以上	93	93

項目	AE 減水剤 遅延形 規定値	ダラセム MR
減水率 (%)	10 以上	16
ブリーディング量の比 (%)	70 以下	45
凝結時間の差 (分)	始発	+ 60 ~ + 210
	終結	0 ~ + 210
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	110 以上
	材齢 28 日	110 以上
長さ変化比 (%)	120 以下	99
凍結融解に対する抵抗性 相対動弾性係数 (%)	60 以上	92

### 使用上の注意事項

- ・雨水や異物が入らないように、また、凍結しないように保管してください。もし、凍結した場合には、徐々に温め、融解・攪拌後で使用ください。
- ・取扱いに際しては、ゴム手袋や保護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・皮膚に付いた場合には、速やかに上水道水で十分洗い流してください。眼に入った場合は、眼をこすらず直ぐに上水道水で十分洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合は直ぐに吐かせ、多量の飲料水を飲ませた後、さらに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- ・廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- ・詳細な情報が必要な場合は、弊社の製品の安全データシートをご参照ください。

[gcpat.com](http://gcpat.com) | 商品に関する問い合わせ: [asia.enq@gcpat.com](mailto:asia.enq@gcpat.com)

### GCPケミカルズ株式会社

東京事務所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1 丁目 8 番 10 号 クリエイトビル 6 階 Tel: 03 (5226) 0231 Fax: 03 (3239) 2251  
技術部 〒243-0807 神奈川県厚木市金田 100 番地 Tel: 046 (225) 8877 Fax: 046 (221) 7214

弊社は、本情報がお役に立つことを願っております。本書に記載されている情報は正当および正確とみなされるデータおよび情報に基づいており、使用者の考察、調査、および検証に役立てていただくために提供するもので、弊社は結果が得られることを保証するものではありません。弊社が提供するすべての商品に適用される販売条件と合わせてすべての記載事項、推奨、または提案事項をよくお読みください。記載事項、推奨、または提案事項はいかなる特許、著作権、またはその他の第三者の権利を侵害するような使用を意図するものではありません。

GCP Applied Technologies Inc., 米国 02140 マサチューセッツ州ケンブリッジ ホワイトモア通り 62

© Copyright 2016 GCP Applied Technologies, Inc. All rights reserved. | Printed in Japan | 03/16 | 250-Daracem-6



**gcp** applied technologies